

ビワ生育情報

千葉県
平成20年2月号

平成20年1月の気象

平成20年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第2及び第3半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、中でも第4及び第5半旬は平年より2.3 低かった。月平均気温は5.1 で、平年より0.9 、前年より1.7 低かった。

氷点下日数は第2及び第3半旬を除く全ての半旬で見られた。月合計は14日で、平年より4日、前年より12日多かった。

最低極温は第2、第3及び第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。1月28日には-3.3 を記録し、この冬一番の冷え込みであった。

降水量は第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、第1半旬は降雨がなかった。月合計は44mmで、平年及び前年の46%であった。

日照時間は全ての半旬で平年を下回った。月合計は121時間で、平年の72%、前年の1.1 倍であった。

表1 平成20年1月の気象 (暖地園芸研究所)

| 半旬 | 気温() | | | 氷点下日数(日) | | | 最低極温() | | |
|----------|-------|-----|-----|----------|-----|----|---------|------|------|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 1 | 4.9 | 6.7 | 6.4 | 4 | 1.1 | 0 | -0.9 | -0.4 | 0.3 |
| 2 | 8.3 | 6.4 | 6.8 | 0 | 1.5 | 1 | 1.1 | -1.0 | -0.1 |
| 3 | 6.2 | 6.0 | 5.7 | 0 | 1.7 | 1 | 1.2 | -1.4 | -0.4 |
| 4 | 3.5 | 5.8 | 6.8 | 4 | 1.5 | 0 | -1.5 | -1.0 | 0.7 |
| 5 | 3.2 | 5.5 | 6.4 | 3 | 1.8 | 0 | -1.9 | -2.3 | 1.2 |
| 6 | 4.5 | 5.7 | 8.3 | 3 | 2.2 | 0 | -3.3 | -2.1 | 0.9 |
| 平均/計/最低値 | 5.1 | 6.0 | 6.8 | 14 | 9.8 | 2 | -3.3 | -3.4 | -0.4 |

: 1月の過去34年間の最低極温の平均

| 半旬 | 降水量(mm) | | | 日照時間(時間) | | |
|----|---------|----|----|----------|-----|-----|
| | 本年 | 平年 | 前年 | 本年 | 平年 | 前年 |
| 1 | 0 | 16 | 8 | 26 | 27 | 14 |
| 2 | 9 | 22 | 69 | 25 | 27 | 20 |
| 3 | 9 | 13 | 0 | 11 | 27 | 21 |
| 4 | 3 | 11 | 4 | 18 | 27 | 12 |
| 5 | 21 | 15 | 10 | 16 | 27 | 18 |
| 6 | 2 | 19 | 6 | 25 | 34 | 28 |
| 合計 | 44 | 96 | 96 | 121 | 169 | 113 |

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園研の開花始期は、「楠」が11月7日、「大房」が11月25日、「田中」が11月11日で、「楠」及び「田中」は平年より3日早かったが、前年より4日及び1日遅かった。「大房」は平年と同じであったが、前年より1日遅かった。

開花盛期は「楠」が11月24日、「大房」が12月23日、「田中」が12月4日であった。「楠」は平年より6日早かったが、前年より4日遅かった。「大房」は平年より1日、前年より5日遅かった。「田中」は平年より5日、前年より1日早かった。

開花終期は「楠」が12月17日、「田中」が1月9日であった。平年より16日及び7日、前年より39日及び35日早かった。2月1日現在「大房」の開花は終了していない。

本年の開花の進みは、10～11月の気温が平年よりやや低かったが、12月の気温が平年よりやや高く、いずれの品種も平年よりやや早いと同程度である。また1月28日に厳しい寒波が襲来し、開花の早い品種で樹冠外側の幼果に寒害が発生した。今のところ被害程度は例年並と予想される。

表2 ビワの開花期 (暖地園芸研究所)

| 品 種 | 開花始期(月.日) | | | 開 花 盛 期 | | | 開 花 終 期 | | |
|-----|-----------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|------|------|
| | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 | 本 年 | 平 年 | 前 年 |
| 楠 | 11. 7 | 11.10 | 11. 3 | 11.24 | 11.30 | 11.20 | 12.17 | 1. 2 | 1.25 |
| 大 房 | 11.25 | 11.25 | 11.24 | 12.23 | 12.22 | 12.18 | - | 1.30 | 2.25 |
| 田 中 | 11.11 | 11.14 | 11.10 | 12. 4 | 12. 9 | 12. 5 | 1. 9 | 1.16 | 2.13 |

平年：1982年～2006年の25年間の平均

3月の作業

ビワは厳寒期を過ぎて春めいてくると、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。しかし、春先は夜間冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。接木は3月になると台木の芽が動き始めるので、3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害の受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。1果房に残す果数は、1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1果残すが、少ない樹では多めに着果させる。本年の花付きは良好で着果房数が多いので、1果房に1～2果残す。3果以上着果させると果実が小さくなる。

接 木

接木の適期は、台木とする実生苗の芽が動き始める3月上旬～中旬である。接木及び接木苗の植え付けは、できるだけ天気の安定した時期を選んで行う。気温が低かったり雨天の日に作業すると、接木した苗の活着率が低くなる。また、4月に入ると台木の樹液の溢出が多くなり接ぎ難くなるので、接木は3月中に終わらせる。

【生育情報の問合せ先:千葉県農業総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>